

北海道倶知安農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和2年度に重点化した取組の実現状況・課題			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	・地域性を活かして、農業教育の質を向上さ、生徒が達成感を実感できる取り組みを充実させる。	・地域の特産物の生産からアンテナショップでの販売。生産物の加工調理。	・最新農業技術の知識を身に付け、実践できる体制を整えていく。	4
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	・農業の国際化に対応したグローバルな教育活動を展開する。	・ジャガイモでのJGAP認証の継続に向けた取り組みの実施。 ・地元外国人経営者からの講演。	・GAP継続認証、新規認証に向けた取り組み。 ・英語科と連携した教科横断的な取り組みの充実。	4
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	・地域の特徴を生かした生産技術の学習を展開し、地域を支える人材育成を目指す。	・ようてい和牛ブランド化に向けた自給飼料の製造方法について分析し、実証試験を実施。	・地元の農家と連携した共同研究に向けた取り組みの充実。	5
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	・農業の6次産業化の学習を展開し、地域産業を担う人材を育成する。	・地元酒造メーカーと連携し、本校産の酒米を原料とした日本酒の製造・販売を実施。	・外部機関、地元企業とのさらなる連携。 ・販路の拡大や情報発信を強化し人材育成の確保に繋げる。	5
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	・持続可能な農業生産への取り組みを充実させる。	・第3者機関である北海道有機農業研究協議会から特別栽培米の認証。 ・SDGsを意識した農業生産の取り組み。	・高品質な低タンパク米の生産に取り組む。 ・SDGsを意識した農業生産の取り組みを継続させる。	4
	⑥「食農」教育を推進します。	・食農教育を推進し、医食同源の取り組みを創出する。	・地元小学生と交流し、ジャガイモや米の栽培を通して、食と健康について考えることができた。	・活動内容の情報発信を定期的に行い、食と健康についての重要性をPRする。	3
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	・地域未利用資源の活用や地域の人材、自然の恵みを積極的に活用する。	・澱粉かすを飼料に添加しサイレージ化して給与した和牛飼育を実施。 ・酒粕を利用した商品開発。	・地元の自然の恵み、廃棄されるような副産物を使用した商品および生産物の研究を行う。	4
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	・カフェ、アンテナショップの充実を図り、地域交流の拠点とする。 ・異年齢交流を通し、指導性と社会性を育成する。	・本校生産物を使ったメニューで、テイクアウトのランチボックスを販売。 ・栽培や飼育を通して幼稚園や小学生との交流を実施。	・外部への宣伝、情報発信によるPR。営業時間の検討、食材の確保。 ・交流先との日程調整が必要。	4
V 地域防災を推進する学校	⑨機関・団体と連携した」教育を行います。	・地域と連携し、就農促進に向けた取り組みを実施する。	・企業と連携し、農業の最新技術について実演の実施。	・今後も関係機関と連携を図り魅力ある研修会（スマート農業等）を実施する。	3
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	・地域防災に努め、危機管理に対する意識を高める。	・JGAP認証を通して農場の掲示・マニュアルやリスク管理について整備。	・継続認証を通して今後も安全教育を推進する。	4